

★学校の教育目標	◎自ら考え学ぶ子 ○健康でたくましい子 ○思いやりのある子 ○めあてをもってやりぬく子	★重点計画の概要
★目指す学校像（ビジョン）		●プロジェクト名：児童の「わかった！できた！」がいっぱいプロジェクト ●プロジェクトの設定理由：児童が授業で「分かった！できた！」という経験を積み重ね、新しいことを学ぶ楽しさを味わってほしい。文章を読み解く力を高めることで、学習内容の確実な定着を図りたい。 ●内容：①「文章を読み解く力」を高める授業の実践 ②記憶・言語・推論等の認知機能を高める活動の実施 ③「南平小スタンダード」を活用し、問題解決型の授業スタイルを実践 ④朝学習の時間を活用し、基礎的・基本的な学力の定着を図る ⑤OJTを実施し、教師の指導力向上を図る
【目指す児童像】	○学び合いで思考を深め、安心して表現する児童 ○互いの良さを認め合い、協働して学びを深める児童 ○目標の達成に向けて行動し、最後までやり抜く児童	
【目指す学校像】	○児童が居場所があると感じ、活躍できる学校 ○地域が児童の成長を見守り、学びを支える学校 ○教職員が目指す学校像の実現に向けて挑戦し続ける学校	
【目指す教師像】	○高い指導力と優れた人権感覚をもつ教師 ○高いコミュニケーション能力をもつ教師 ○組織を生かして課題を追求する教師	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				取組指標	成果指標
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	児童が主体的に学習することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する。	●文章を正しく読み解く力の向上を図り、分かったことを図や表、式等に表す。 ●記憶・言語理解・推論等の認知機能を高める活動を行い、読解力の素地を養う。	●校内研究会を活用し、「読み解く力」の向上を図る。年間4回の研究授業を行い、効果的な指導方法について学びを深める。 ●毎週1回朝学習の時間に、コグニティブトレーニングを実施し、認知機能の向上を図り、読解力の素地を養う。 ●毎週3回の朝学習の時間を活用し、読み、書き、計算等の基礎的な学習内容の定着を図る。	4 読解力の向上により、児童が学ぶ楽しさを味わう授業を行う教師の割合90%以上 3 読解力の向上により、児童が学ぶ楽しさを味わう授業を行う教師の割合80%以上 2 読解力の向上により、児童が学ぶ楽しさを味わう授業を行う教師の割合70%以上 1 読解力の向上により、児童が学ぶ楽しさを味わう授業を行う教師の割合70%未満	4 文章を正しく理解することで、学ぶことが楽しいと感じる児童の割合90%以上 3 文章を正しく理解することで、学ぶことが楽しいと感じる児童の割合80%以上 2 文章を正しく理解することで、学ぶことが楽しいと感じる児童の割合70%以上 1 文章を正しく理解することで、学ぶことが楽しいと感じる児童の割合70%未満
	児童の課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育む。	●課題を解決するために、既習事項を活用し、自力で解決しようとする力を育む。 ●学習したことや体験したことなどを整理し、他者に発信したり、自分と他者の類似点、相違点が確認できるような学習活動を行う。	●問題解決型の授業を基調とし、本時の学習課題を把握した後は、既習事項を活用して自分自身で課題解決に向けて考える活動を取り入れる。 ●「南平小スタンダード」を活用し、授業の各過程で重視する指導事項を明確にする。また、授業のUD化を行い、全ての児童が学習内容を定着できるように支援する。 ●学び合いの時間に、自身の考えを発表したり、相手の考えを聞いたり、教師が「どの考えが優れているか」という発問を行ったりして、児童の学びを深める。	4 問題解決型の授業を実践し、児童の学びを深める授業を行う教師の割合90%以上 3 問題解決型の授業を実践し、児童の学びを深める授業を行う教師の割合80%以上 2 問題解決型の授業を実践し、児童の学びを深める授業を行う教師の割合70%以上 1 問題解決型の授業を実践し、児童の学びを深める授業を行う教師の割合70%未満	4 自力解決や学び合いで考えを深めることができたと感じる児童の割合90%以上 3 自力解決や学び合いで考えを深めることができたと感じる児童の割合80%以上 2 自力解決や学び合いで考えを深めることができたと感じる児童の割合70%以上 1 自力解決や学び合いで考えを深めることができたと感じる児童の割合70%未満
みんなの多様な学びとあわせをつくる	児童の自己肯定感を醸成し、児童が様々なことに自信をもって取り組めるようにする。	●教師が分かりやすい授業を行うことで、児童が「分かった」という経験を積み重ね、自分に自信をもつ。 ●各教科・領域等において、一人一人の児童が互いを尊重し、大切にされる活動を位置付ける。	●校内研究で「文章を読み解く力の向上」に取り組み、様々な教科で、児童が「分かった。できた。」を実感することで自己肯定感を高める。 ●委員会・クラブ・係活動等、児童が自身の役割を果たし、学校や友達の役にたったと認識することで自己肯定感を高めたり、周りの人の役に立つ心地よさを味わったりする。 ●たてわり活動等、上学年が下学年の手本となったり、世話をしたりする機会を設け、学年による役割意識を高めさせる。	4 分かりやすい授業を行い、児童の自己肯定感向上を図る教師の割合90%以上 3 分かりやすい授業を行い、児童の自己肯定感向上を図る教師の割合80%以上 2 分かりやすい授業を行い、児童の自己肯定感向上を図る教師の割合70%以上 1 分かりやすい授業を行い、児童の自己肯定感向上を図る教師の割合70%未満	4 学習を理解したり、活躍したりすることで自信が付いたと感じる児童の割合90%以上 3 学習を理解したり、活躍したりすることで自信が付いたと感じる児童の割合80%以上 2 学習を理解したり、活躍したりすることで自信が付いたと感じる児童の割合70%以上 1 学習を理解したり、活躍したりすることで自信が付いたと感じる児童の割合70%未満
	自他ともに命を大切に、互いに尊重し合える豊かな心の育成を図る。	●学校はいじめを絶対に許さないことを伝え、児童のいじめはしないという心情を育てる。いじめの未然防止、早期発見、未解決〇に努める。 ●授業に対話や学びを深める場面を設定し、児童が相手の考えを受け入れたり、友達の良さを発見したりする力を高める。	●全校朝会や道徳の授業で、いじめは絶対に許さないことを伝える。学期に1回のいじめアンケート、毎週2回の生活夕会等を通して、いじめの未然防止、早期発見に努める。また、いじめの疑いがある場合は、速やかに組織的に対応を行う。 ●生活の決まり「南平小セブンルール」の定着を目指し、全校朝会等で代表委員会児童から全校に周知する機会を設ける。 ●国語、道徳など、心情に触れる教材の学習場面において、登場人物の気持ちを想像し他者と交流し多様な考えに触れる学習機会を設定する。	4 自分や周りの人を大切に思う気持ちを高める授業を行う教師の割合90%以上 3 自分や周りの人を大切に思う気持ちを高める授業を行う教師の割合80%以上 2 自分や周りの人を大切に思う気持ちを高める授業を行う教師の割合70%以上 1 自分や周りの人を大切に思う気持ちを高める授業を行う教師の割合70%未満	4 自分や周りの人のことを大切に思っている児童の割合90%以上 3 自分や周りの人のことを大切に思っている児童の割合80%以上 2 自分や周りの人のことを大切に思っている児童の割合70%以上 1 自分や周りの人のことを大切に思っている児童の割合70%未満
社会と未来に関き、みんなで作る	地域の自然や人材とのかかわりを通して、ふるさと日野を誇りに思う気持ちを醸成する。	●南平小の自然や産業に関する営みに触れ、体験的に学べる学習活動を計画的に実施する。 ●日本の伝統的な文化や地域の文化に触れ、それらのよさを体験的に学べる学習活動を行う。	●学校農園「すずかけ広場」での米作り、しきなみ短歌作り、空手教室、菊教室等、地域の方をゲストティーチャーに迎え、日本の文化、南平小の自然を体験できる学習を行う。 ●地域に関して学習したことを、他者に発信する機会を設け、児童と地域人材が豊かにかかわれるようにする。 ●近隣の幼稚園、保育園、中学校等と連携して学習を行うことで、児童が様々な人とかかわり合って生活していることを実感できるようにする。	4 地域に関する体験活動を実施し、郷土愛を育む授業を行う教師の割合90%以上 3 地域に関する体験活動を実施し、郷土愛を育む授業を行う教師の割合80%以上 2 地域に関する体験活動を実施し、郷土愛を育む授業を行う教師の割合70%以上 1 地域に関する体験活動を実施し、郷土愛を育む授業を行う教師の割合70%未満	4 地域に関する体験学習を通して、ふるさと日野を大切に思う児童の割合90%以上 3 地域に関する体験学習を通して、ふるさと日野を大切に思う児童の割合80%以上 2 地域に関する体験学習を通して、ふるさと日野を大切に思う児童の割合70%以上 1 地域に関する体験学習を通して、ふるさと日野を大切に思う児童の割合70%未満
	学校と地域が協働する仕組みを作るとともに、地域と連携し、よりよい学校を構築する。	●地域協力者や各団体と連携した学校運営体制を構築する。 ●教員の力を最大限に発揮できる環境を整え、児童や地域に貢献できる人材を育成する。	●学校運営連絡協議会、民生・児童委員、学校コーディネーター等様々な機関と情報共有を図り、多様な当事者が学習活動に関わり、学校と共に児童の健全育成を推進する。 ●校長の方針のもと、教員の特長を生かした校内人材配置を行い、組織的・効率的な学校運営を図ることで時間や業務の圧縮と負担軽減を図り、教員の力が最大限に発揮できる体制を構築する。	4 地域とのつながりを大切にし、地域と共に児童を育成する教師の割合90%以上 3 地域とのつながりを大切にし、地域と共に児童を育成する教師の割合80%以上 2 地域とのつながりを大切にし、地域と共に児童を育成する教師の割合70%以上 1 地域とのつながりを大切にし、地域と共に児童を育成する教師の割合70%未満	4 地域と共に活動し、学んだことを活かして成長し続ける児童の割合90%以上 3 地域と共に活動し、学んだことを活かして成長し続ける児童の割合80%以上 2 地域と共に活動し、学んだことを活かして成長し続ける児童の割合70%以上 1 地域と共に活動し、学んだことを活かして成長し続ける児童の割合70%未満

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。